

■その他の試験データによる有効性の検証（一例）

- 浮遊菌に対する試験データ ●試験機関: (財) 北里環境科学センター
●試供品名: バクテリサイド-S型
●試験目的: 殺菌性能評価試験

1. 結核菌

- 試験項目: ドライガス方式の評価
- 試験菌: Mycobacterium bovis BCG RIMD 1314006
牛型結核菌BCG株
- 使用培地: MiddleBrook 7H11(BBL)
- ※作用時の塩素検知管（株）ガステックによるガス濃度の測定値
塩素ガス濃度: 3.0ppm
二酸化塩素ガス 換算値: 1.9ppm (換算係数: 0.64)

試験区分	n	試験菌数 CFU/空気50L	
		直 後	10分
対 照	1	1.0×10^3	1.0×10^3
	2	1.0×10^3	1.0×10^3
	3	1.0×10^3	1.0×10^3
バクテリ サイドS型	1	1.0×10^3	0
	2	1.0×10^3	0
	3	1.0×10^3	0

2. MRSA

- 試験項目: ドライガス方式の評価
- 試験菌: Staphylococcus aureus ATCC33591 MRSA
- 使用培地: TRYPTCASE SOI AGAR (BBL)
- ※作用時の塩素検知管（株）ガステックによるガス濃度の測定値
塩素ガス濃度: 4.0ppm
二酸化塩素ガス 換算値: 2.6ppm (換算係数: 0.64)

試験区分	n	試験菌数 CFU/空気50L	
		直 後	10分
対 照	1	4.6×10^6	4.7×10^6
	2	5.0×10^6	4.3×10^6
	3	9.6×10^6	7.1×10^6
バクテリ サイドS型	1	4.6×10^6	$< 10^2$
	2	5.0×10^6	$< 10^2$
	3	9.6×10^6	$< 10^2$

$< 10^2$ = 検出下限

■水溶液の殺菌効果試験データ

- 試験機関: (財) 北里環境科学センター
- 試験項目: 殺菌効力評価試験
- 試験材料: ANTHIUM DIOXIDE (Stabilized ClO₂)
二酸化塩素濃度: 3,500mg/Lの水溶液
※使用状況に合わせてpHを調整
- 試験菌: Mycobacterium bovis BCG RIMD 1314006
牛型結核菌BCG株
- 使用培地: MiddleBrook 7H11(BBL)

■ANTHIUM DIOXIDE希釈液 (pH調整時) の殺菌性能評価試験結果

作用濃度 (pH値)	CFU/mL			
	初 発	10分	30分	60分
対 照	3.8×10^6			3.5×10^6
10mg/L (3.7)		3.0×10^6	2.4×10^6	1.8×10^6
20mg/L (3.7)		4.0×10^5	7.9×10^3	3.0×10^1
50mg/L (3.7)		2.3×10^4	2.0×10^1	$< 10^1$

< 10 = 検出せず

■寝具に対する試験データ

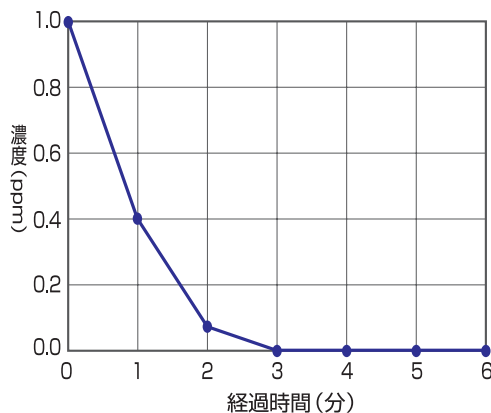
- 試験機関: 杏林大学医学部微生物学教室
- 供試品名: バクテリサイド-S型
- 試験目的: 殺菌力評価試験
- 試験項目: ClO₂ガスの殺菌効果
- 試験菌: 腸管出血性大腸菌 (O157)
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)

	菌設置位置	O157	MRSA
対 照		8.7×10^4	8.7×10^4
バクテリ サイドS型	内側底部: 近位	$< 5.0 \times 10$	$< 5.0 \times 10$
	内側底部: 遠位	$< 5.0 \times 10$	$< 5.0 \times 10$
	外側底部: 近位	$< 5.0 \times 10$	$< 5.0 \times 10$
	外側底部: 遠位	$< 5.0 \times 10$	$< 5.0 \times 10$

$< 5.0 \times$ = 検出下限

■ホルムアルデヒド除去試験データ

- 試験機関: 京都有機化学研究所



★シックハウス等にも効果を証明

安定化二酸化塩素は短時間で確実にホルムアルデヒドを除去します。

【院内（室内）感染を起こしやすいウイルス】

【院内感染 尿路感染症】

- 大腸菌 ●緑膿菌 ●セラチア ●エンテロコッカス

【院内感染 日和見病原体】

- 黄色ブドウ球菌 ●表皮ブドウ球菌 ●メチシリン耐性ブドウ球菌 (MRSA)
- ストレプトコッカス ●アガラクティエ ●大腸菌 ●肺炎桿菌 ●エンテロバクター ●緑膿菌

【院内感染 日和見病原体 嫌気性菌】・・・内因感染

- バクテロイデス ●ペプトコッカス ●プロピオニバクテリウム

【院内感染 その他】

- 真菌 ○インフルエンザ ○RSウイルス ○風疹ウイルス ○アデノウイルス
- ライノウイルス ○ヒト免疫不全ウイルス (HIV)

**ウイルスの細胞膜（タンパク質）を酸化によって破壊!!
新型コロナウイルスの死滅にも活用されています。**

※試験データによる有効性の検証 / 資料: データ提供=株式会社サンシール